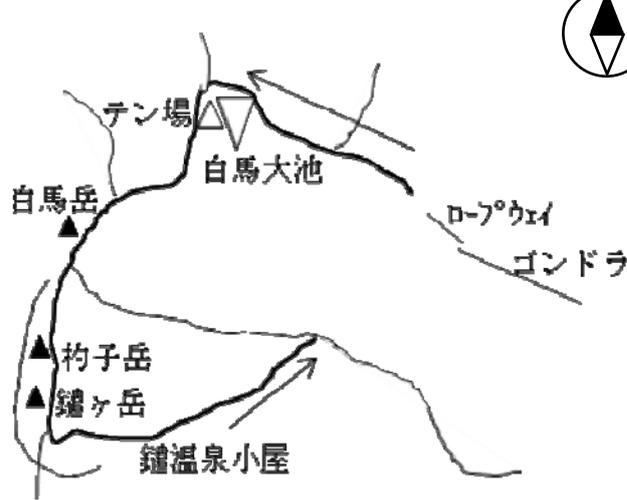


8 月度 <small>例会</small> <small>個人</small> 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	09/12		
山 域	北アルプス	山行日	12年08月31日(金)		
山 名	白馬三山		～09月02日(日)		
山行目的	白馬・杓子・鑓ヶ岳縦走と鑓温泉を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 白馬岳、白馬町

8/31 曇り後晴れ	9/2 曇り
09:05 ロープウェイ終点	05:00 起床
09:30 センター出発	05:20 露天風呂(日の出)
10:05 銀嶺水 1 本(10分)	08:05 鑓温泉小屋発
10:40 天狗原 1 本(10分)	09:05 水場 1 本(10分)
11:20 雪渓 1 本(10分)	10:05 中山沢 1 本(10分)
12:00 乗鞍岳 1 本(10分)	11:10 猿倉着
12:35 白馬大池(テン場)	
9/1 曇り	
03:30 起床	
05:30 白馬大池発	
06:20 船越ノ頭 1 本(10分)	
07:00 1 本(10分)	
(7:15 小蓮華山頂、7:45 分岐)	
08:00 1 本(10分)	
08:35 白馬岳山頂(5分)	
08:55~9:25 白馬山荘	
10:40 杓子岳山頂(10分)	
11:50 鑓ヶ岳山頂(25分)	
13:10 大出原 1 本(10分)	
14:35 鑓温泉小屋(泊)	



一瞬ガスが晴れました



〈山行報告〉 <第 1 日目(8/31)>昨夜、自宅を出発し駒ヶ岳 SA で車中泊。5 時に起き、白馬方面へ。豊科 IC を出て、柵池駐車場に到着。天気は晴れ。登山準備をし、ゴンドラ・ロープウェイに乗り込むが、“アレレ” ガスの中に入り込んで視界なし。“まあ～、そのうち晴れるさ!”と、センターに登山届を出して出発。天気が回復するにつれ、暑い。妻と一緒に、超ポレポレペースで歩くが、それでも汗が噴き出す。センター近くの営業小屋で買ったおやきを食すが、結構うまい。妻は雪渓トラバースを初体験。30 分ペースで歩くと、昼過ぎテン場着。焼酎でほろ酔い、野菜スイトンを食し、17 時就寝。

<第 2 日目(9/1)>夜中に雨が降るも、3 時半に起床。未明の満月が綺麗だ。朝食にそうめんを食し、今日はハイライトと張り切って外へ出るが、何と霧の中。気持ちを切り替え、テントを撤収して出発。天気の回復を期待しつつ、白い霧の中を、黙々と進む。景色が全く見えず、少々気落ちするものの、時々咲いている道端の小さな花が唯一の慰めだ。白馬山頂に着くも、眺望もなく寒いので登頂の証拠写真だけを撮っては、先を急ぐ。ホテル並みの白馬山荘に立ち寄り、一寸贅沢してコーヒーを注文、実に美味かった。山荘のご主人も、今日の天気を予想できなかった(良くなると思った)との事。山荘を後にし、杓子目指して、少し歩いた所で、奇跡的に一瞬、ガスが晴れて素晴らしい白馬山系の景色の一端を垣間見る事ができた。“このまま、晴れてくれ”と思ったが、肩透かしだった。ザレ場を超えて杓子岳へ。そして鑓の頂上

では、少し粘ってみたが、晴れる事はなく、お楽しみの鑓温泉を目指し、急坂を降りる。小屋手前の難所も注意して通過し、小屋へ到着。早速に、露天風呂で憩いの時間を過ごして、本日は終了。

<第 3 日目(9/2)>5 時に起き、露天風呂へ。お湯に浸かっていると、雲はあるものの、5 時 20 分頃、オレンジ色に輝く荘厳な日の出を拝する事ができた。朝食をゆっくりと頂戴しては、8 時過ぎに小屋を出発。今日は降りるだけ。名残

〈リーダー所見〉  
お花畑のピークは過ぎてはいるものの、妻の白馬のお花畑を見たいという言葉と、私の鑓ヶ岳への思いと、柵池のペンションクーポンの期限が迫ってきた事から、計画した山行であった。天候には、恵まれなかったが、名残の高山植物と食べ物とには、恵まれた山行であり、私も妻も、楽しむ事が出来たと思う。来年に、再チャレンジかな?



確認  
(リーダー)

津田

12.9.12

作成  
(報告者)

津田

12.9.12